

Leafy Roof Lavatory - 安らぎの屋根がつくるみんなの憩いの場 -

設計趣旨

1. 風景に調和した建物

敷地は、市街地に残された標高 152m のなだらかな立田山にあります。その環境を壊さないよう、風景の中に自然と佇むような優しい建物を提案します。また、ひとかたまりの建物とはせず、建物ボリュームをできるだけ分散させ、ヒューマンスケールに合わせます。各部屋の上にはなだらかな曲線を描いたひとつの屋根をかけることで、自然の風景になじむ建物とします。

2. 訪れる人々の安らぎと憩いの空間

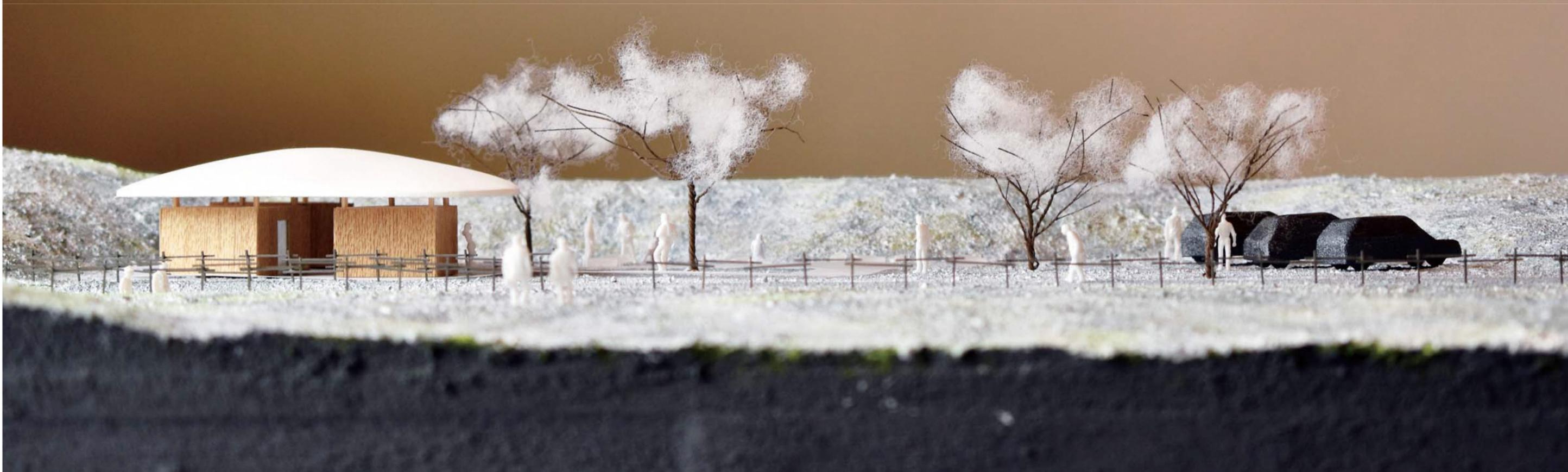
木の葉のような形状をしたやわらかな曲線を描く屋根が、訪れた人々に優しい木陰を提供し、単なる機能的な建物ではなく、その周辺も含めた憩いの場となるように計画します。

建物のすぐそばには石などの優しい自然素材で作った滑らかな形状のベンチやテーブルを設置し、長くみんなに親しまれるような空間を創り出します。

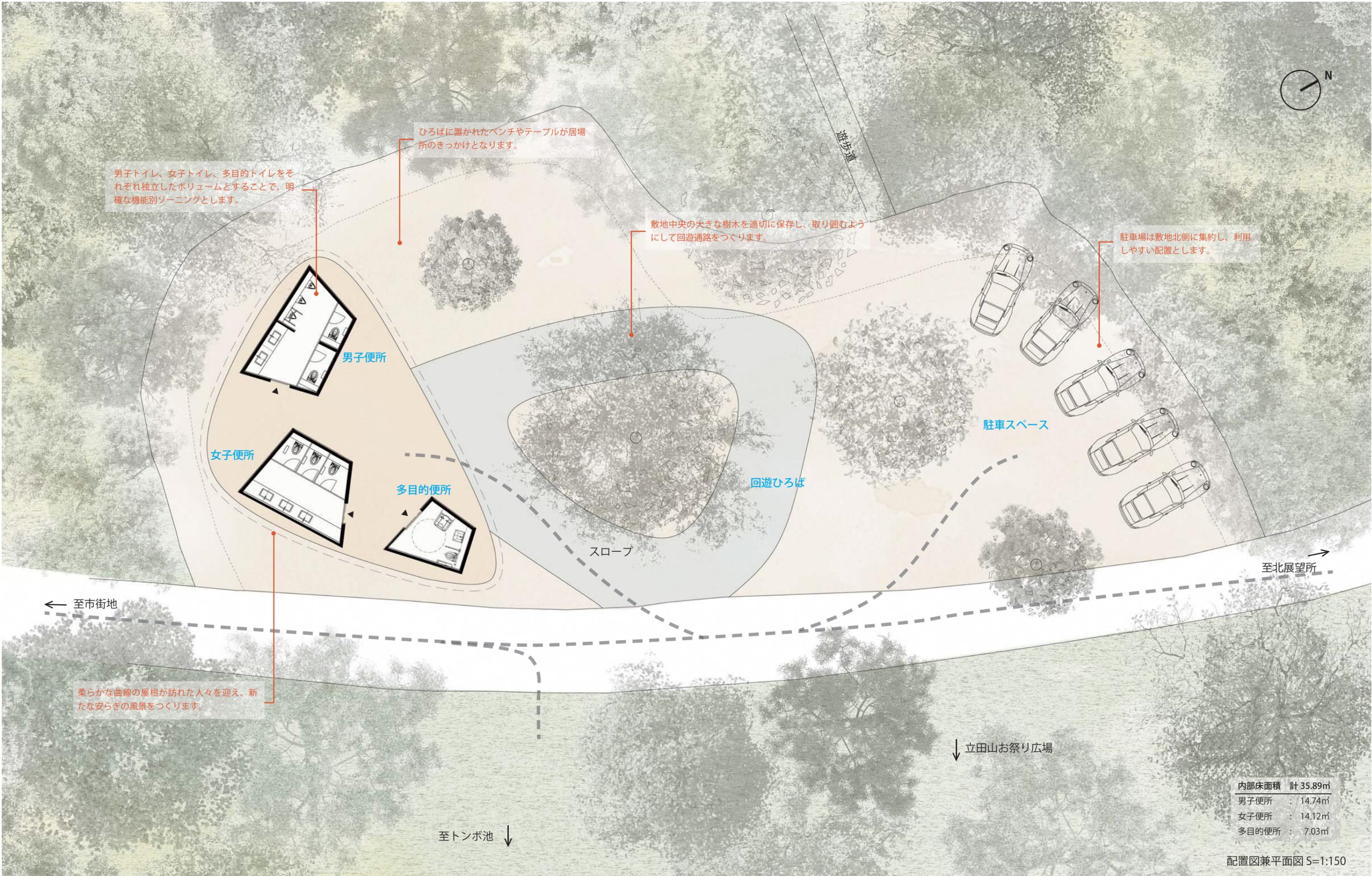
3. みんなが使いやすく愛される場所

敷地の高低差をスロープでつなぎ、バリアフリーに配慮するとともに、リング状に回遊できる魅力的な場所とします。また、通路幅や出入口幅に余裕をもった計画とします。

屋根は製材で経済的に作る合理的な架構とします。地域産木材を構造材や外装材に積極的に利用し、地域産業の活性化とともに、地元で愛される建物とします。



分かりやすく使いやすい配置計画



内部床面積	計 35.89m
男子便所	: 14.74m
女子便所	: 14.12m
多目的便所	: 7.03m

近隣の阿蘇山の風景や、木の葉の形状をモチーフとした屋根が、周辺環境になじむ、おおらかな安らぎの空間をつくりだします。



南側立面図 S=1:100



木の葉イメージ



阿蘇山イメージ

屋根の小屋組は直線材の組み合わせで曲面屋根をかたどり、野地板の弾力性を生かして屋根面全体になじませて金属屋根をふきます。

